

あすひあ登録団体の紹介

こんな活動をしています vol. 16

登録団体の中で取材を希望する団体は
あすひあまでお知らせください。

広報部会の部員が伺います！

特定非営利活動法人こども未来ラボ

こども未来ラボの事務所は、鷺の台駅から線路の東側を国分寺方向に歩いた住宅街にある緑色の家です。普通の家を教室や事務所にしているので、狭くても居心地のいい空間です。そこで芋生多恵子理事長にたっぷりお話を伺いました。

活動内容について尋ねると、芋さんはすぐさま整理された棚から次々とファイルを出して説明してくださいました。内閣府が主催する「困難を有する子供・若者の相談業務に携わる団体職員研修」を受講中ということで更にお忙しそう。ご自身をスキルアップしていく姿勢が印象的でした。

活動のきっかけは2002年。国分寺で英会話教室を始めたころだそうです。書くことが苦手な生徒さんがいました。アルファベットの「a」と「d」の区別ができない、書字・読字障がいがあるお子さんでした。普通に話せるので周囲からは気づかれないけれど、自分の努力では治

らない症状の一つです。もしその子が書けないからとイラついた行動をとれば、普通は嫌が悪いなどと言われてしまします。

このようなお子さんが文字と音を繋げられるようになると、「書ける・読める！わかるから楽しい！」と思えるようになります。「成功例を積めば自信がついて社会で生きやすくなるから、小学生時代の教育はとても大切なんです」と芋さんは言います。日本LD*学会の会員になったのはその頃です。

小平に転居後は、助成金で発達障がいに関する講演会や親をサポートする親カフェ、勉強会や相談会を行ってきました。また、学校や周囲の人がその子その子が抱える困りごとを把握できるよう、「サポートブック」をつくりています。

今後はペアレントプログラムという母親・指導者支援を企画中です。発達障がい児に関わる大人が、実際どのように子どもと接したらその子の理解者になるか、その手法を学べる講座です。

「困っているお母さんたちをつなげていきたい」と言う

芋さん。「ラボがあつてよかったと思ってもらえるために」気づいたところから明るく力強く行動に移しています。(S)

*LD……知的発達に遅れはない、特定の能力の修得に困難を示す学習障がいのこと



» 12月に開催された「親子でつながるいやしのわらべうた」の様子。みんなリラックスして、広い畳の上を走り回ったり、楽しそうでした

DATA

活動日●火曜日～土曜日
事務所住所●小平市上水本町1-2-5
連絡先●042-359-4587
メールアドレス●machikado.mirai.iomae@gmail.com
ホームページ●http://www.mirailabo.org/
*『まちかど未来塾』『シェアリングルーム』は、2017年度より特定非営利活動法人こども未来ラボの事業となります

親子リトミックサークル ピッコロ

講師の服部利さんといっしょに、赤ちゃんから未就学児までの母子が音楽に合わせて身体を動かし楽しく活動している様子を見学しました。

服部さんは7年前から元気村でリトミックのベビー（赤ちゃんから2歳）とキッズ（2歳から未就学児）対象の活動をしています。

リトミックとは音楽で楽しく遊びながら子どもたちの持っているあらゆる能力を引き出すための教育です。ピアノ、ハンドベルなどを使って歌ったり、手遊びしたり、自由に歩いたり駆け回ったり、工作したりしていました。それぞれの子どもの月齢、年齢で表現の仕方が違い、楽しんでいる様子がとても可愛い。

特にベビークラスでは、マットの上に赤ちゃんを寝かせてお母さんが音楽に合わせてリンパの流れを良くする



子どもを遊ばせながら
お母さんが作成した、
クリスマスの飾り物 »



マッサージをすると、赤ちゃんは静かに気持ちよさそうになります。つづけて、お母さんも静かなピアノの子守歌が流れる横になって身体を休めます。短い時間ですが、気分転換になりリラックスします。

参加していた方は、「広い安全な場所で子どもとリトミックを楽しむことができ、母親同士の交流もあり、講師に子育ての相談もでき、コミュニケーションの場にもなっている」と話しました。季節に合わせた飾り物を簡単に工作して、家に飾ると季節感が出て良いそうです。

キッズクラスは子どもたちが積極的に参加して歌ったり、友達とも関わって動いたり、少しの年齢差で違うものだと驚きました。

他に小平市内の公民館、地域センターなどで、様々な年齢の子どもたちを対象にした活動もしているそうです。(A)

DATA

活動日●毎月2回
活動場所●小平元気村おがわ東 多目的ホール（予定）
会費●1,500円
連絡先●motherscom3@gmail.com（親子リトミック研究会マザーズカンパニー）

精神保健福祉ボランティアの会 ひだまり

毎月第3土曜日に小平元気村おがわ東「喫茶サタデーひだまり」が開かれます。代表の八木さんやスタッフのみなさんにお話を伺いました。



» 他市のみなさんも参加して大合唱

「ひだまり」は、心に病を抱えた人たちがすんなりと日常生活を営めるようにボランティアで活動をしています。例えば、通院している人のつきそいボランティアをする場合、病院から駅までの道のりを一定の距離をおいて後を歩いていき、電車に乗るところまでを見届けます。

活動の一つである「喫茶サタデーひだまり」は、街の喫茶店では他のお客様に気をつかってしまうので入りづらく居場所がない、という声を聞いて始めたということです。「この喫茶では、障がいのある人もない人もお茶を飲んで楽しそうにおしゃべりをしています」と八木さんが穏やかに話すように、お互いに知っている人も知らない人もお茶とおしゃべりと音楽演奏を楽しむことができる居心地のよい場所です。

街の演奏家に頼んでもらっていましたが、回を重ねるうちに演奏したいという人たちが申込んでくるようになりました。のこぎり演奏の加藤さんの他に、サック



ス、ギター、オカリナの演奏家集団「ひだまり組」もそのひとつです。

ひだまりは、喫茶事業の他にひきこもり相談支援、精神保健福祉講座の開催、救護施設あかつき・あさやけ第二作業所・地域生活支援センターあさやけでの喫茶や調理のボランティアもしています。会員になったきっかけは、「銀行で社協講座のチラシを見て」「講座に参加し、会の人たちに出会っていっしょに活動したいと思ったから」「母が高齢者クラブにお世話になったので、40代で居場所づくりに关心を持ったから」など様々ですが、どの方も人間の根っこ部分にある気持ちを大切にしているようでした。八木さんが話す団体のモットーは「無理をしない」「できることには責任を持つ」のふたつです。「喫茶サタデーひだまり」では会員を募集しています。(T)

DATA

<喫茶サタデーひだまり>
活動日時●毎月第3土曜日 13:30～16:00
場所●小平元気村おがわ東第二会議室（予定）
メニュー●コーヒー、紅茶、ジュース（ケッキー付）各100円
<ひきこもり相談支援>
活動日時●毎月第2火曜日 10:15～11:45
場所●あすひあ会議室（予定）
費用●無料
<連絡先>上記どちらも
電話●042-309-7984（八木）

